

○議長（堀内春美さん）

それでは、通告１番、１１番 鮫田洋平君の一般質問を行います。

１１番 鮫田洋平君。

○１１番議員（鮫田洋平君）

改めまして、おはようございます。改選後初めての定例会となり、通告順ということで、１番に質問させていただきます。今回の選挙はこれまでにない激戦となり当選させていただき、これまで以上に身の引き締まる思いであり、選挙中、終始訴えてきた「夢や希望の持てる町、安心安全に暮らせる町」また、既存の施設を有効に活用し、交流人口の増加に力を入れ全力で任期を務める覚悟であります。

当選後に「富士川町の未来を語ろう～活性化プロジェクト～」を立ち上げ、参加者とともに活動をしているところであります。当面は、既存の施設をどのように有効活用すれば、多くの方に利用していただけるかを中心に、みんなでアイディアを出し合い、富士川町の未来のために活動していきます。

今後の議員活動でも多くの町民の声を聞き、夢を形にしていけるよう提案していきたいと思いますので、町長はじめ執行部各位には前向きな答弁をお願いいたします。

それでは、通告に従いまして一般質問を始めます。今回は大きく４点について質問していきます。簡潔に解りやすい答弁をお願いいたします。

それでは、質問事項１、大柳川溪流公園キャンプ場について質問させていただきます。（１）大柳川溪流公園のキャンプ場について、令和３年１２月議会で、管理が曖昧になっているので、指定管理や外部の運営業者に委託する考えを伺いました。その時の答弁では、予約不要の無料施設であり、管理人もいないため、自由にいつでも利用できる状況であるため、施設の管理運営を適切に行なうことは必要であり、施設の有効活用、適切な維持管理が行えるよう、指定管理による管理運営ができるか検討する。との答弁がありましたが、その後の検討状況についてお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。大柳川溪流公園の指定管理のこれまでの検討状況につきましては、町の指定管理に関する条例や規則、諸法令の確認、また、指定管理者制度を導入するにあたり、新たな条例や規則の制定が必要などの検討を行ったところであります。こうした経過を踏まえ、今後は、管理運営に必要となる利用料などを明記した条例改正などを行った後に、指定管理者の公募を行って参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

それでは、次の（２）の質問に移ります。先月２８日の土曜日にも活性化プロジェクトの参加者と町内めぐりを行い、このキャンプ場も見学してきました。その時も大変混雑しておりました。また、５月の末ということもあり、雑草が生い茂り、景観は良いとはいえない状態でした。

ゆるキャン△の影響もあり、週末やゴールデンウィーク時には大変混雑しており、車の中でスペースが空くのを待っている人や、数日前から場所取りで、ブルーシートを敷いているグループも見受けられるそうです。先ほども話しましたが、雑草も含め、利用者に大変ご迷惑を掛けているのが現状です。そこで、指定管理による管理運営を早急に行う必要があると思いますが当局の考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。大柳川溪流公園は、近年のキャンプブームにより県内外から多くの方々にご利用されており、週末やゴールデンウィークの混雑状況や、一部の利用者による迷惑行為がある事は把握しております。

町では、このような状況を解消するため、大柳川溪流公園の指定管理者による管理運営を予定しており、今後のスケジュールとしましては、本年９月定例会で条例等の改正を上程したのち、選定委員会の設置、ホームページや広報誌による応募要領等の周知、候補者選定などの諸手続きを行い、明年３月定例会において指定管理者を決定し、４月から指定管理者による管理運営を行えるよう目指して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

指定管理導入に向けて、今後のスケジュールなど詳細な答弁をいただき、大柳川がこれから賑わっていくことを確信しました。

再質問です。管理運営を外部にお願いするまで、まだ少し時間がかかるかと思えます。それまでの管理、草刈りやトイレ掃除など、定期的に行っていただきたいと思いますが、担当課で行っていただけますか。確認です。

○議長（堀内春美さん）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

指定管理者が決定するまでの間、この大柳川溪流公園につきましては、町の施設ということですので、今までどおり維持管理のほうは適切に行って参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

お願いいたします。ゆるキャン△やソロキャンプブームの影響もあり、多くの方に大柳川に足を運んでいただいております。利用者に気持ちよく利用していただくためにもしっかりとした管理運営を願っています。

また、指定管理導入に向けても計画通りに進めていただきたいと思います
それでは、質問事項2、公園の整備等についての質問に移ります。

（1）子育て世代の親御さん何名かに、富士川町の子育て支援について聞き取りを行いました。ほとんどの方が、色々なサポートも充実しており、子育てしやすい町と言っておりました。しかし、幼児や小学校低学年のいる親御さんからは、安心、安全に遊ばせることができるよう中心市街地への公園設置の要望の声が多かったです。そこで、庁舎周辺はいつでも多くの人がいて多くの地域の目があり防犯上も安心と考えます。庁舎東別館、東別館分館は新庁舎完成後解体予定となっております。解体後の敷地に親子や小学生が利用できる公園の設置について提案いたしますが、当局の考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

ただいまのご質問にお答えいたします。東別館、東別館分館につきましては、新庁舎整備計画において、町内5箇所に分散している出先機関を、本庁舎に集約することから、令和6年度に解体予定としております。

その後の跡地利用については、利用者が増加する新庁舎の駐車場として、整備をすることとしております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

令和6年度に解体し駐車場として整備するということですが、まだ2年ありますので再質問させていただきます。

再質問です。町長は所信表明の中で、県内トップクラスの子育て支援を掲げました。新庁舎は町のシンボルとして、今後利用者も多くなると思います。誰でも来やすく親しまれ、賑わいのある場所になることが望ましいと思います。最近では、全国的に公共施設整備を行う際、周辺を一体的に整備している事例

が多く見受けられます。子育て支援の観点からも、ハード面の整備をし、さらに子育てしやすい町としてPRできると思いますが、公園整備も含め、庁舎周辺の一体的な整備として、計画の変更も視野に考えられないか伺います。

○議長（堀内春美さん）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在の新庁舎整備計画では、庁舎周辺に緑地帯を設け、遊歩道やベンチを設置することで来庁者が気持ちよく利用できるよう計画しております。こうしたことから、庁舎整備計画の中では公園を整備することは考えておりません。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

庁舎周辺の整備計画は理解いたしました。多くの町民が気持ちよく利用ができるよう、計画を進めていただきたいと思います。

再質問です。今後、他の公共施設整備がある場合は、公園だけでなく、施設と連携させ、一体的なエリアとして整備できれば賑わいがある町づくりができると思いますが町長の考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

鮫田議員の公共施設の整備計画がある場合というご質問にお答えさせていただきます。公共施設の整備計画がある場合には、町の賑わいや子育てしやすいなど、すべての方々が利用しやすい施設として検討して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

ぜひ、そのようにお願いいたします。既存の施設を有効に活用したり、エリアごとに集約した整備が可能となれば、さらに生活もしやすくなり、町長の座右の銘でもある孔子の言葉のように、町民は喜び、他の地域からも多くの来庁者が見込まれると思います。

また、最近ですと、埼玉県の新谷市に商業施設と連携した「新谷テラスパーク」がオープンし、公園や農産物の直売所、体験コーナーなど充実しており、連日、大変賑わっていて、子どもから大人まで、1日楽しめる施設となっているそうです。全国には成功事例が多くあり、こういった無料や低料金で遊べる

スポットが、人気があるそうです。今後の参考にして頂ければと思います。

それでは、次の（２）の質問に移ります。子育て世代の親御さんから公園設置の要望が多々ありますが、町内には各地区にいくつかの公園があります。どこにどんな公園があるのか知らない町民が多いのが現状です。「ここの公園はこんな遊具があるよ」とか、「広い芝生のスペースがあるよ」また、「何歳くらいの子が対象だよ」、「親子で一日遊べるよ」など各公園を紹介した、仮称ですが「すくすく遊々公園マップ」を作成する考えがあるか伺います。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 山形謙一郎君。

○都市整備課長（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えいたします。町内には、利根川公園をはじめとする地区公園や農村公園などが３８箇所あります。特に、子育て世代向けには母子健康手帳アプリ「ふじすくアプリ」がございます。今後、このアプリの活用とあわせて、子育て世代の方々が利用できる公園のマップの作成について検討して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○１１番議員（鮫田洋平君）

ふじすくアプリに、子育て支援施設の検索で各公園が紹介されていることは承知しております。アプリ内の紹介は一覧であり、詳細情報は載っていないのが現状です。また、アプリの利用者は限られてくると思いますので、アプリの普及にも力を入れていただき、多くの町民が利用できる公園マップの作成をしていただきたいと思います。

再質問です。作成を検討していただけるマップに、１、２か月に１度、どこかの公園に「ゆずにゃん現る」のようなイベントも子どもたちには大変喜ばれると思います。町民のＬＩＮＥ登録者が増加していると聞いておりますので、情報はＬＩＮＥで発信すれば、登録者もさらに増加すると思います。そういった企画情報もマップに入れていただければと思いますが考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 山形謙一郎君。

○都市整備課長（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えします。マップの作成の検討とともに、イベント的情報につきましては、町のホームページやＬＩＮＥにより、積極的に発信して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

そういったちょっとしたイベントがあると、子どもたちにも大変喜ばれると思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

また、こういったマップもそうですが、町では色々なパンフレットなどを作って町のPRをしていただいております。そういったものも含め、作って満足にならないよう、活用方法まで考え検討していただきたいと思います。

それでは、次の（3）の質問に移ります。2020東京オリンピックから競技種目になったスケートボードやBMXなど、若者に人気上昇しており競技人口も増加しております。町内の特に若い世代の方から富士川町にスケートボードやBMXが出来る公園の整備を望む声を耳にします。現にいきいきスポーツ公園の駐車場を利用しているグループもあり、練習に励んでいる姿を何度も見かけております。

また少し前ですが、県では、各自治体への普及のきっかけとなるよう、小瀬スポーツ公園にモデルケースとして、スケートボード優先エリアを整備しました。県でも推奨している事業であります。そこで、富士川町にスケートボード、BMXパークの新設を提案いたしますが当局の考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 山形謙一郎君。

○都市整備課長（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えいたします。スケートボードやBMXの人気の高まり、町内の公園駐車場等で練習している方々がいることは認識しております。

しかし、本来の練習場所ではないことから、一般利用者との間で安全面等のトラブルが生じることが考えられることや、今後、競技人口の増加が見込まれることから、利用できる場所の提供について、既存の公園や現在整備中の公園も含め検討して参りたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

県内では小瀬スポーツ公園に続き、北杜市にもスケートボードができる施設整備が始まっています。遅れをとってしまいましたが、早急に検討していただき早い時期での設置を願っております。

再質問です。全国の同じような施設を調べてみますと、廃校になった学校の屋内運動場、いわゆる体育館を改修し、全天候型の施設もあります。町内にも廃校になった学校がいくつかあり、利用頻度を調べてみますとあまり利用されていないのが現状です。こういった施設も視野に入れて検討したらよいと思いますが考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 井上誠君。

○生涯学習課長（井上誠君）

ただいまのご質問にお答えします。廃校になった学校体育館をスケートボードやBMXに利用するには、専用の設備の床面への固定が必要となります。そのため、体育館の用途変更の手続きが必要となるとともに、近隣住民に対する騒音問題、避難所としての役割に対する影響等いくつかの課題がございます。また現状、学校行事などで学校体育館が一般に開放出来ない時には、廃校になった体育館もスポーツ少年団やスポーツ協会専門部等が利用しております。

こうしたことから、これらの課題に対し調査研究して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

色々と課題があることは理解しました。スケートボードの種目にはパークとストリートがあるそうです。こういった種目に合わせた設備も検討材料に入れていただき、パーク設置の検討の中で参考にし、研究していただければと思います。

それでは、質問事項3、第二次総合計画についての質問に移ります。

第二次総合計画は、平成30年度から令和7年度までの8年間の計画となっております。PDCAサイクルの観点から実行し、評価して改善をし、総合計画に沿った町政運営が行われていることは存じております。しかし、この計画も前期計画が終わり、折り返し地点となりました。総合計画は、町の将来の指針であり、我々議会、また、議員は総合計画に沿って、計画が順調に進んでいるかチェックし、目的の達成のために政策提言や提案を行う事も務めます。今計画も今年度から後期計画に入り、望月町長の任期中は、この計画で進めていかなければならないと思いますが、望月町政になり半年が経過する中で、町長の政策を反映させた計画に見直す必要があると思いますが考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまのご質問にお答えいたします。総合計画は、本町のまちづくりにおける羅針盤であり、最上位計画です。

本計画の策定にあたりましては、平成29年度に町民意識調査を実施し、町民ニーズの把握に務めるとともに、町内15地区において、寄り合いワークショップを開催し、地域の課題やその課題の解決策を地域住民の皆さまと共に考

え、計画を策定したところであります。

こうした中、全体の8年間の中の前期の4年間が経過したことから、現在、進捗状況の取りまとめを行っているところでございます。

今後は、進捗状況の結果を基に、私が掲げる公約との整合性を図りながら、必要な見直しを行って参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

後期計画には、町長の政策が反映された計画に見直されるということで安心しました。富士川町をさらに発展していただけるよう期待しております。また、我々も計画が進むよう切磋琢磨し、より良い町づくりを考えていきたいと思えます。

それでは、質問事項4、道の駅富士川のアクセスについての質問に移ります。中部横断自動車道は、令和3年8月に双葉、新清水間が全線開通となり自動車道の利用者は増加しております。静岡方面へ向かう上り線から道の駅富士川に立ち寄る場合、一度一般道に出なければ利用できません。道の駅しらねでは一時退出のサービスがあり、料金は据え置き措置されております。道の駅富士川は今年4月に地元の材料を使用したバウムクーヘン専門店、「バウムアルラ」がオープンし大変盛況と聞いております。また、色々なイベントを開催し集客に努めていただいております、日本でも指折りの道の駅となっています。また、地域の方の協力もあり、毎日新鮮な野菜や季節の果物などの出店もあり、地域の方からも愛される施設となっております。株式会社富士川の社長をはじめ関係各位には敬意を払いたと思います。

そこで、道の駅富士川にも同様のサービスが可能となれば、道の駅の利用者がさらに増加し、さらなる集客に繋がると思います。株式会社富士川でも毎年、NEXCO中日本や国交省へ要望していただいておりますが、町としてもNEXCO中日本に要望する考えがあるか伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

それでは、ただいまのご質問にお答えします。道の駅しらねの一時退出のサービスは、ETC2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて休憩施設の道の駅に立ち寄り、3時間以内に再進入した場合であれば、降りずに利用した場合と同じ料金で、継続利用ができる料金設定のことで、「賢い料金」と言われているものであります。

これは、SAなどの休憩施設の間隔が、概ね2.5km以上離れている区間を減

らすことを目的に、社会実験として全国の道の駅23箇所を対象に行われており、県内では道の駅しらねが、この社会実験の対象となっております。

町では、本年3月に国土交通省に対しまして、道の駅富士川における「賢い料金」の実施および中部横断自動車道上り線とのアクセス強化のための整備等について要望をしたところであります。

また道の駅富士川でも、毎年ネクスコ中日本に対しまして、「賢い料金」の早期導入を要望しているところであります。

なお、国土交通省が本年度新規事業としまして、道の駅富士川の北側の土地に駐車スペース増設や連絡橋の整備を行うことから、道の駅富士川の、利用者の増加などがさらに期待できるところであります。

こうしたことから、社会実験中であります「賢い料金」が、今後、本格実施された場合には、道の駅富士川を指定していただけるよう、引き続き国やNEXCO中日本に要望をして参りたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

おそらく現段階では、条件的な部分で厳しいかとは思いますが、多くの方に富士川町に立ち寄っていただけるよう引き続きの要望活動をお願いいたします。

再質問です。先ほどの答弁の中に、駐車場整備とありましたが、場所など現時点でわかる範囲で構いませんので概要をお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの再質問にお答えいたします。本年3月、先ほど「賢い料金」の要望をしたときに打合わせをさせていただきました。まだ場所のほうは、しっかりと公表できる状況ではありませんが、道の駅富士川に連結する連絡橋を設置いたしまして、その新しい駐車場というのを設置していく方針でございます。また、順次打合せが進んで概要が表に出てきたら、しっかり議会のほうにも報告をいたしながら、さらに道の駅富士川周辺が活気ある、この地域のランドマークになるよう努力をしていきたいというふうに思っております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

ぜひ色々なものが決まり次第、議会のほうにも報告していただきたいと思い

ます。イベント開催時など駐車場も不足している状況ですので、国交省と連携し、有効的な駐車場となるようお願いいたします。

東部開発は、富士川町の玄関口ですのでしっかり整備していただき、道の駅だけでなく、さらに町内に呼び込めるように各課とも連携をしながら進めていただきたいと思います。

今回の一般質問は、冒頭にも言いましたが「富士川町の未来を語ろう～活性化プロジェクト～」の参加者からの意見や町民の意見をもとに質問させていただきました。

人口を増やすことはとても難しいことだと思います。まずは既存の施設など町の資源を有効活用し、多くの方に富士川町の魅力を感じていただき交流人口を増やす中で、「この町に住み続けたい、この町に住んでみたい」と思ってもらえるような町づくりをしていきたいと思います。

今後も、富士川町が大きく発展し、富士川町民でよかったとみんなが思える町になるよう、この議場におられます皆さまと、また、町民の皆さまと共に、みんなでいいアイデアを出し合いながら富士川町をつくっていききたいと思います。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告１番　１１番　鮫田洋平君の一般質問を終わります。
